

無洗米 月産1000トンへ

ハナノキ 瑞浪工場ラインを増設

ネット需要に対応

OLに人気 玄米保管倉庫も新設

米穀精米卸のハナノキ(本社北名古屋市長井の元三六、山内正道社長、電話0568・22・3711)は四月中旬をめどに、瑞浪工場(瑞浪市)の無洗米ラインを増設する。ネット通信販売などで伸びている無洗米需要に対応するのがねらい。無洗米の生産能力を、現行の月間三百トンから三倍強の一千トンへ増やす計画。

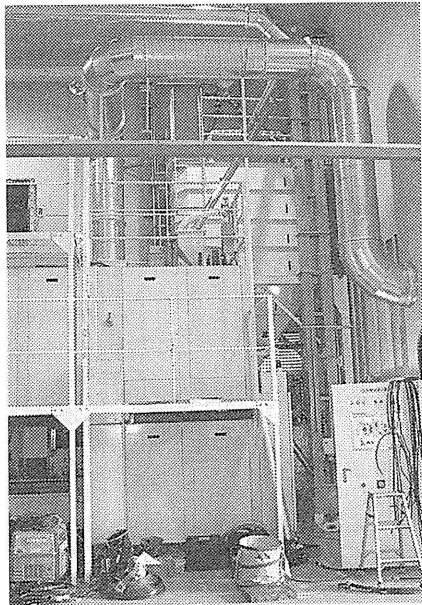
(北名古屋・倉科信吾)

同社の無洗米は、洗長。わずにそのまま炊飯できるとの加え、うまみを残したおいしさが特徴

〇六年六月に、インターネット上の楽夫市米部門のベスト10ラン

ズン」に出品したところ、同社商品が、無洗米部門のベスト10ラン

増の十三億五千万円を見込んでいます。同社は昨秋から、無洗米を精米に次ぐ経営の柱にする戦略を打ち出しており、将来的にさらなる増産も視野に入れてい



新ラインが入る瑞浪工場

現在)で三、十位を除いて独占した。特に首都圏をはじめ都市部のOLからの注文が多いという。今六月期の無洗米の売上高は、対前期比五億五千万

倉庫も新設する。無洗米の生産を強化する企業が少なく、「今がチャンス」(池山健次会長)ととらえ、迅速に生産体制を整備し、「無洗米ハナノキ」ブランドを確立していく考え。